

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



いただいた乾麺をみんなで食べました!(カンボジア孤児院)

皆様の尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

このニュースレターも12月号となり、この一年を振り返る時期となりました。

特にこの一年もコロナ渦として、相変わらず様々な制限があり、日本だけでなく、海外の私共の孤児院でも多くの困難な事柄が多々ありました。

このような状況の中、孤児院の子供達とは言えば、嬉しい意味で相変わらず元気に、無事に生活できていました。

これらの状況を鑑みるに、当然のことながら、やはり皆様の御支援、御協力によるところが本当に大きいと認識せざるを得ません。

本当にこの一年、ありがとうございました。

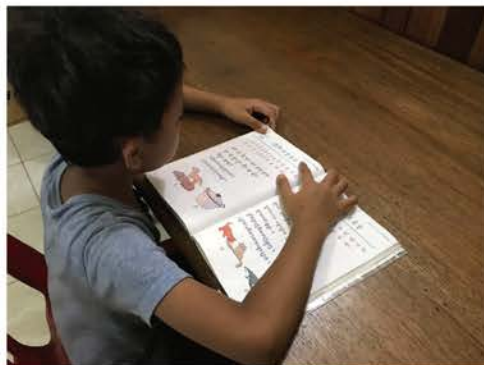
きたる2022年においても、一人でも多くの子供達に助けの手を伸ばしていきたいと思っております。

それ故、どうか皆様の御支援、御協力、これからも何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。政府のコロナ規制に対する対応が10月後半過ぎから緩和されて、入国の際の隔離が短縮されたり、また学校もすべて11月から再開されることになりました。そして実際に、2人の子ども達が通っているNスクールは、コロナ対策として1クラスを午前と午後に分けるという形で再開しました。あまりにも長かった休校だったので、1日も早く子ども達が学校生活に慣れて授業にもついて行けるようにと願っています。もう1つのMスクールは、新学期が来年1月からということで現在はお休みになっていますが、高校受験を11月中旬に控えた2人だけは試験まで補習があり続けて登校しています。授業が再開して2ヶ月くらいしかありませんが、諦めず頑張ってもらいたいと思っています。2人を除いた子ども達は大学生達も含めて、宿題やオンライン授業のみという中で、無事最後の試験に合格して進級することが出来ました。コロナ禍の中で子ども達の為の皆様からの継続したご支援を頂きまして、本当に心から感謝しています。



進級して来年から2年生になるYN

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

皆様のご支援を感謝致します。フィリピンでは10月29日、学校のユナイテッドネイションのイベントが今回はオンラインで行われました。このイベントでは子どもたちがそれぞれ各国の代表に扮して担当の国の民俗衣装を着ます。就学支援生の子もたちは、日本とスウェーデン、北朝鮮の担当に選ばれました。日本に関しては2009年に日本を訪問した時に友人がプレゼントしてくれた着物があつたのですが、今回必要だったのは男物の着物だったので残念ながら使えませんでした。しかし幸運なことに卒業生のジャマールが男物の着物を持っていて借りることが出来ました。スウェーデン担当用には簡単な正装をさせて旗を持たせました。北朝鮮に関してはそれらしい衣装が3週間見つからず困っていましたが、姉がいろいろな服や民俗衣装も売っているリサイクルショップを教えてくださいました。店に行くと店員が前日届いた商品があると見せてくれて、イベントが始まる1時間前に何とか全ての準備が整いました。皆様の変わらないご支援を心から感謝致します。皆様のご支援無しにこの働きは出来ません。今後ともフィリピンの子もたちのために、皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



朝鮮の民族衣装をきている女の子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に心より感謝申し上げます。現在、養鶏場を3つの教室に改築する工事を進めています。これで職員室の確保もできるようになると同時に、来年1月からひとり教員を増員して、新たに17人の孤児の受け入れが可能になり、総勢60名の孤児たちが私たちの支援によって学校に通える事になります。ひとりの孤児の給食費(朝・昼)が1ヶ月約2千円、制服代千800円/1人かかります。ひとりの生徒が病気がちで、登校できてない状況が続いています。この子は、HIVの母子感染で生まれたのですが、最近になって親戚からその事を伝えられました。それによる精神的なダメージが大きく、生きる意欲を失ってしまっているようです。このような子どもを取り扱うために、スタッフ数人をカウンセラーとして訓練を受けるコースに送ることを計画しています。新しい土地での建設事業も含め、今後更に多くの孤児たちを救済していくために、どうぞ更なる皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



屋根設置まで進みました。予算上、安いトタン屋根になったので、いづれしっかりしたものに変わりたいと考えています。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ブラジルでは暑さが本格化してきました。しかし色々問題は多いですが今のボウソナール大統領がサマータイムを停止してくださって、体調が守られておりますこと感謝しています。先日は市内の児童養護施設にクリスマスのプレゼントをさせていただき、15人のリュックサックを送りました。パーティー時の写真を撮ってくださいということで期待しています。担当の方にお話をお聞きしたところ、現在受け取っている子供はいなくて、62人の就学支援や育児支援をなさっているそうです。それを聞いて気づきを与えられ、ネットで調べたところ、法律が2017年に改正され、子供を受け取って来っていた児童養護施設が運営方針を変更させられてきている現実を知りました。これから礎の石孤児院としての活動をどのようにしていったらよいか模索しています。これからも皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。



クリスマスプレゼントしました!